

大日本貨幣史

十五

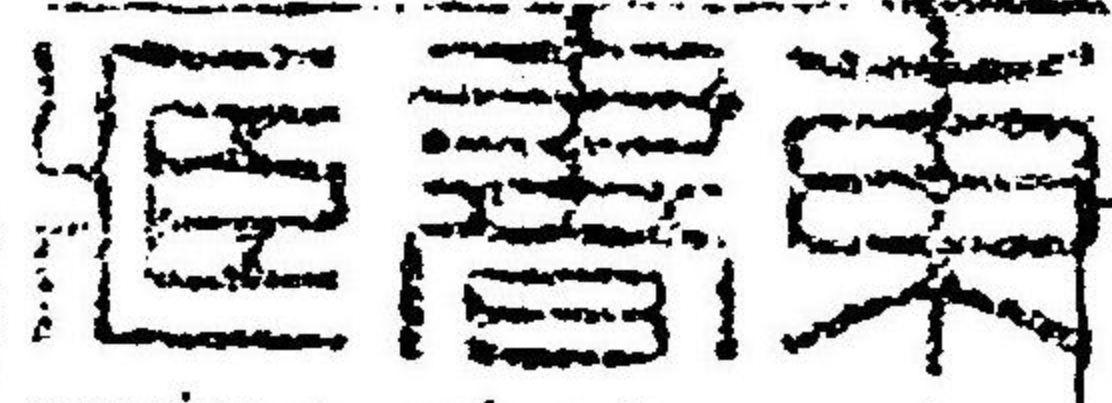
| | | | | |
|-------------|--------------------------|--------------------|--------|--------|
| 東京圖書 | | | | |
| 二 七 冊 | 四 六 号 | 六 架 | 一 函 | 類 屬 |

40

明治十年刊行
紙幣部

大日本貨幣史

大藏省



未辛

大日本貨幣史卷十五

紙幣部

紙幣寮御雇吉田賢輔纂述

明治十年圖書局交付



明治四年金銀米札并ニ錢切手或ハ產物預リ切

ノ通用貨幣ニ混スベキ品ヲ新製シ又ハ増
カラザルコトヲ令ス○福井藩ヲシテ其
於テ紙幣ノ用紙ヲ濫立ルコトヲ禁ゼシ

ム○諸藩ヲシテ贋札ノ改所ヲ設ケシム○諸藩
ニ於テ空米切手ヲ製スル等ノ所行ヲ禁ス○各

地方ニ於テ諸會社ヲ設ケ官許ナキ金券并ニ預
 リ切手ヤウノモノヲ發行スルコトヲ禁ズ○府
 藩縣ニ於テ紙幣ノ用紙ヲ濫立ルコトヲ禁ズ○
 金銀米札并ニ錢切手或ハ產物預リ切手等ノ通
 用貨幣ニ混ズベキ品ヲ新製シ又ハ増造スベカ
 ラザルコトヲ令ス○地方官管内限リ製造ノ紙
 幣ヲ通用スルコトヲ禁ズ○地方官管内限リ通
 用ノ紙幣引替遲延ノ縣ヲ督促ス○燒損ノ札等
 ハ引替手摺汚レ札等ハ字形印章分明ナルハ通
 用スベキコトヲ令ス○福岡藩ニ於テ紙幣ヲ實

造スルモノヲ罪ニ處ス○諸藩札ハ本年七月十
 四日ノ相場ヲ以テ交換スベキコトヲ令ス○紙
 幣通用ノ藩々ヨリ手續^{カドガキ}廉書ヲ出スベキコトヲ
 令ス○大藏省中ニ紙幣司ヲ置ク○大藏省ノ寮
 司ヲ定メ二等寮中ニ紙幣寮ヲ置ク○舊藩札ノ
 製造器械等ヲ大藏省へ差出スベキコトヲ令ス
 ○舊藩札調書粗漏不都合ニ付キ調方雛形ヲ示
 ス○三井組ニ命シ正金引替ノ拾圓五圓壹圓三
 種証券ヲ製造發行セシムルコトヲ令ス○各縣
 石高拜借金ノ年割上納ハ正金新札等ヲ以テ上

納スルモ隨意タルベキコトヲ令ス○新貨ヲ以テ金札ト交換スルトキハ必ス壹圓壹兩ノ當リヲ以テスベキコトヲ令ス○造幣寮ニ於テ古金銀預リ證券ヲ發行スルコトヲ令ス○諸縣ノ負債ハ元ト縣廳所屬ノ本廳ニ於テ文消ノ見込ヲ立ツベキコトヲ令ス○舊藩札調書ヲ差出スコトノ遅延セルモノヲ督促ス○紙幣寮ヲ八代洲河岸ニ移スニ付キ紙幣ニ關スルコトハ同所ニ至リ引合フベキコトヲ令ス○舊諸藩管轄地ノ兩縣ニ引分レシモノハ本年七月十四日相場ヲ

以テ雙方藩札交通スベキコトヲ令ス○正金引替證券ノ取引差丈フベカラザルコトヲ令ス○大藏省ニ於テ舊藩札文消ノ方法ヲ設クルニ付キ別段文消ノ見込申出ヅルニ及バザルコトヲ令ス○舊藩々製造ノ錢札ハ當今縣々管内限り七月十四日相場ヲ以テ比較通用スベキコトヲ令ス○新紙幣ヲ發行スルコトヲ令ス○各種ノ紙幣ハ新貨相當ノ定位タルベキコトヲ令ス○新紙幣ノ發行ヲ普達スベキコトヲ令ス○舊藩札ノ通用相場調書ヲ差出スベキコトヲ令ス○

新貨幣舊藩札價格比較ノ制ヲ定ムルコトヲ令
ス
是歲二月御布告ニ曰ク府藩縣ニ於テ楮幣ヲ
製造スニカラザルコトハ兼テ布告アリシニ
今以テ往々同様ノ所業アル哉ノ趣ムキ聞ユ
以テノ外ノコトナリ右ハ全國理財ノ要務ニ
於テ弊害少ナカラズ實ニ容易ナラサルコト
ナレハ向後金銀米札并ニ錢切手或ハ諸產物
預リ切手等ノ通用貨幣ニ混スヘキ品ノ新製
又ハ増造等ハ決レテ為スヘカラス萬一管轄

下ニ於テ右様ノ所業ヲ為スモノアラハ的當
ノ嚴律ニ處セラルヘシ○同月福井藩へ御達
ニ曰ク府藩縣ニ於テ楮幣ヲ製造スベカラザ
ルコトハ己巳十二月既ニ御布告アリシニ今
ニ至ルマテ往々同様ノ所業アル趣ムキ聞ユ
就テハ其藩管轄下丹生郡五ヶ村等ニ於テ從
來右用紙漉立ルヨシニ付キ己巳十二月以來
何處何某へ何程製造シテ送致セシ哉巨細取
調ベ至急申出ヘシ且楮幣ノ用紙漉立ノコト
ハ向後嚴ニ禁止シ是マテ用ヒ來リシ器械其

外地紙ノ類アラハ詳細ニ取調封印シ置キ早
々調書ヲ以テ伺出ベシ萬一違犯ノ輩アラハ
重キ御處置ノ品アルベシ○三月二十七日御
達ニ日夕諸縣へ贖札鑑定ノ者ヲ追々遣ハセ
シニ地方ニヨリテハ改方行届カサルノ向モ
アリ難澁ノモノ少ナカラサル趣ニ付キ各藩
ニ於テモ改所ヲ取設ケ嚴重取り締リスヘシ
○四月四日御達ニ日夕從來諸藩ニ於テ歳入
ノ米穀賣却ノ節藏米切手ト唱ヘ米券ヲ製シ
賣買セシ向モアル趣然ルトコロ會計窮迫ノ

餘リ一時ノ取り計ヒヲ以テ蓄積ノ米穀高ニ
適實セス空米切手ヲ製シ終ニ融通否塞ノ基
トモナルコト少ナカラザル哉ニ聞ユ以テノ
外ノコトナリ向後右等ノ所為ハ決シテ為ス
ヘカラス憲法類編○同月同日府藩縣へ御達ニ日
夕近来各地方ニ於テ商法便利ノ為メ追々諸
會社ヲ取り設ケシ趣然ルトコロ結社ノ規則
モ心得カシテ懸空ノ見込ヲ以テ取り扱ヒシ
ヨリ往々訴訟ノ端ヲ開キ或ハ融通ノ道ヲ誤
リ準備ノ正金モ充實セス預リ切手又ハ金券

様ノモノヲ發行シ終ニ破産ノ資トナリシコ
 トモアル哉ニ聞ヘ不都合ノコトナリ追テ一
 定ノ商規モ立ツベキナレトモ差向右等ノ所
 為コレナキヤウ各管轄廳ニ於テ取り調ベ官
 許ナキ金券并空名預リ切手等アラハ速ニ廢
 止シ正金ト引替ヘサシムヘシ憲法類編 ○同月同
 日府藩縣へ御布告ニ曰ク府藩縣ニ於テ楮幣
 ヲ製造ス可ラサルコトハ己巳十二月既ニ布
 告セシニ今以テ製造スル向モアル哉ニ聞ユ
 以テ外ノコトナリ就テハ是マテ各管内ニ

於テ右用紙漉立ル場所アラハ己巳十二月以
 來何所何某へ何程製造シテ送致セシノ負數
 巨細取調至急伺ヒ出ツヘシ且右楮幣ノ用紙
 ヲ漉立ルコトハ向後差止メ是マテ漉立タル
 地紙ノ類其外器械等詳細取り調ヘ封印シ置
 キ早々調書ヲ以テ處分伺ヒ出ツヘシ萬一違
 犯ノ輩アラハ此度御處置ノ品モコレ有ルヘ
 キニヨリ嚴ニ取り締リスヘシ憲法類編 ○同月同
 日府藩縣へ御布告ニ曰ク府藩縣ニ於テ楮幣
 ヲ製造ス可ラサルコトハ兼テ御布告モアル

ニ今以テ製造スル向モアル哉ニ聞^キヘ以テノ
外ノコトナリ右ハ全國理財ノ要務ニ於テ弊
害少ナカラス實ニ容易ナラサルコトニ付キ
向後金銀米札并錢切手或ハ諸產物預リ切手
等ノ通用貨幣ニ混スヘキ品ヲ新製シ又ハ増
造スル等ノコトハ決シテナスヘカラス萬一
違犯ノ輩アラハ重ク御處置ノ品モアルヘキ
ニヨリ嚴ニ取締リスヘシ憲法類編○六月八日諸
藩へ御達ニ曰ク維新後地方官管内限り製造
ノ楮幣停止タルヘキノ旨去ル巳年十二月御

フエ才作傳

ノ痛

布告アリシニ今以テ通用セル向モアル哉ニ
聞ユ以テノ外ノコトニ付キ早々廢止スヘシ
此上違犯アラハ官負ヲ差向ケ紀明スヘシ憲法類編
○同月同日長崎縣倉敷縣へ各通御沙汰ニ
曰ク地方官管内限り通用ノ紙幣引換ノコト
ハ兼テ御布告アリシニ其縣ニ於テハ今以テ
其事ナシ不都合ノコトナリ今般詮議ノ筋ア
ルニヨリ至急引換ノ目的ヲ立テ七月晦日ヲ
限り申^レ出ツヘシ但引換ノ目的立チガタクハ
其子細ヲ取調ベ申^レ出ツベシ太政官日誌○同月二

十二日御布告ニ曰ク楮幣ノ燒損等ニテ通用
差支ルノ分ハ願出テ次第改メノ上引替ヘ渡
スヘシ尤トモ年月ヲ經テ手摺レ汚レ等アリ
トモ字形印章分明ノ分ハ通用差支ナキヤウ
心得ヘシ憲法類編○七月二日福岡藩ニ於テ楮幣
ヲ贋造スル輩朝憲ヲ憚カラザルヲ以テ罪ニ
處セラルコト各差アリ太政官日誌○同月十四日
御沙汰ニ曰ク貨幣ハ天下一定ノ品ナルヘキ
ニ從來諸藩ニ於テ各種ヤノ紙幣ヲ製造シ其
通用價位區ニテ不都合ノコトナリ今般廢藩

大日本經濟史 卷十五 八 大藏省

ニ付テハ今七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ引
換フルニヨリ此旨兼テ心得ヘシ憲法類編○同月
十五日大藏省布達ニ曰ク從來藩々ニ於テ製
造通用ノ紙幣ハ今回別紙ノコトク仰出サレ
ニ付キ是マテ紙幣ヲ通用セル向ハ左ノ手續
庶書ノコトク取計ヒ巨細調書ヲ大藏省ヘ差
出スヘシ
庶書
一從來通用ノ紙幣ハ維新ノ前後ニ拘ハラヌ
都テ辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ引

大日本經濟史 卷十五 八 大藏省

換フヘキニ付キ早々右相場書付ヲ取調ヘ
差出スヘシ

一 右相場取調方ハ各官廳下又ハ管下ノ市街
等ニテ從來紙幣ノ相場立アル地ノ實境ニ
ヨリ前書七月十四日ノ取引相場ヲ以テ定
ムヘシ

一 管下ノ廣狹ニヨリ右相場立ノ場所數ヶ所
アリ自然高下アルハ重立チタル場所三分
所乃至五個所ノ相場ヲ平均シ定ムヘシ
一 管下狹少ニシテ一ヶ所而已ニテ相場立シ

ハ其場所ノ相場ヲ以テ定ムヘシ

一 若又取極タル相場ナキ仕来ノ地ハ前同日
商民トモ現在取引ノ相場ヲ以テ定ムヘシ
但右ハ五人乃至七人位ノ取引ヲ平均シテ
定ムヘシ

一 右相場ヲ定メバ平均シタル分ハ其場所場
所ノ相場一ヶ所切ノ分ハ其地ノ相場商民
取引ニ付テ定メシ分ハ其手續等巨細明瞭
ニ取調ヘ地名人名等ヲ副ヘ早々届出ツヘ
シ

一 右相場ヲ定メハ速ニ其旨趣ヲ各管下細民
 ドモマデ洩サズ布告シ向後右相場ニ付キ
 心得違ナキヤウニスヘシ

一 右紙幣ニ付キ從來元備ノ引換準備金ハ現
 高精細取調同様届出ツヘシ

右ノコトク心得至急取調差出スヘシ ○同月
 二十七日大藏省ニ於テ紙幣司ヲ設ク ○八月
 十日大藏省ノ察司ヲ定メ紙幣司ヲ紙幣寮ト
 ス即チ寮司ノ定メ左ノコトシ

一 等寮

造幣 租稅

二 等寮

戶籍 營繕 紙幣 出納

統計 檢査

三 等寮

記錄 驛遞 勸業

一 等司

正算

以上 太政官 日誌 ○同月十八日御布告ニ曰ク從來
 諸藩ニ於テ製造通用ノ楮幣今回廢藩ニヨリ

總テ當七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ引替
ヘキ旨ヲ達スルニ付テハ是レマテ右紙幣製造
ノ器械并遣殘地紙ノ類トモ悉皆取り集メ當
十月中マテニ大藏省ヘ差出スヘシ尤トモ有
無トモ申出ベシ但舊領主地頭舊采地ヘ指出
シ置キシ紙幣製造器械ノ類ハ其地方官ニ於
テ取調同様差出スヘシ○九月大藏省布達ニ
日ク從來藩々ニ於テ製造通用ノ紙幣ハ廢藩
ニヨリ當七月十四日ノ相場ヲ以テ追々引換
フベキニ付キ精細取調ニ申出ベキ旨仰出サ

レシニヨリ追々取調ニ申出デレ内ニハ相場
而已ニテ準備金ノ有無ヲ申出デズ其他不都
合ナル調書ヲ差出セシ向モアルニ付キ別紙
雛形ノ如ク相場準備金ハ勿論引換ヘニナル
ヘキ紙幣高内譯トモ早々取調ニ當十月十五
日マテニ差出スベシ○十月十二日御布告ニ
日ク大坂造幣寮ニ於テ既ニ新貨ノ鑄造盛大
ニ施行アレトモ夥多ノ古金銀ヲ一時ニ改鑄
シ國內一般ニ新貨遍ク發行シカタキニ貳分
判ヲ厭忌スルヨリ自然上下ノ不融通ヲ醸ス

ニ付キ今般為替座三井組ニ命シ政府在来ノ古金銀ヲ引當トシテ凡高三百萬圓ノ正金引替拾圓五圓壹圓三種ノ証券ヲ製造シ来十五日ヨリ發行シ海關稅ヲ除クノ外租稅其他ノ上納物日用公私ノ取引ニ至ルマテ都テ正金同様ニ通用セシム尤トモ右証券ハ新貨鑄造ノ高ニ應シ引揚クヘキナレトモ若シ差當リ正金引替方ヲ望ムモノハ何時ニテモ三井組ニ於テ在来ノ貳分判ヲ以テ引替ルニヨリ諸民一毫ノ疑念ナク従前金札同様互ニ通用ス

へシ憲法類編 ○十一月四日御達ニ日々各縣石高

拜借金年割上納ノ分金札以テ納ムヘキノ

トコロ當年ヨリハ都合ニヨリ正金又ハ方今

發行ノ正金引換新札等ヲ以テ上納スルモ苦

シカラス憲法類編 ○同月十日御布告ニ日ク新貨

幣追々發行ニヨリテハ新貨條例ノコトク心

得取り交セ通用スヘキ旨布告セシニ新貨ヲ

以テ金札ト引替ルトキハ兎角多分ノ差ヲ立

テ不都合ノ次第モアル哉ニ聞ヘ心得違ノコ

トナリ自今必ス壹圓壹兩ノ當ヲ以テ新貨金

札取り交々聊カ支障ナク通用スヘシ

太政官
日誌

○同月御布告ニ曰ク今般造幣寮ニ於テ古金

銀預リ証券ヲ發行ス憲法類編○事ハ三貨部ニ詳ナリ○同月

御達ニ曰ク諸縣負債ノコト元管轄飛地ノ石

高へ割當各地へ分賦元トキハ消却混雜スヘキ

ニ付キ都テ元縣廳所屬ノ本廳ニ於テ取纏メ

支消ノ見込ミヲ立ツヘシ但從前通用ノ舊藩

札高并ニ石高拜借貸附其他貸下高等巨細取

調々新ニ所轄ノ縣へ引渡同縣廳ニ於テ取扱

フベシ○同月大藏省布達ニ曰ク從來諸藩ニ

於テ製造通用ノ紙幣ハ廢藩ニヨリ當七月十

四日ノ相場ヲ以テ追テ引換フベキニ付キ巨

細取調早々差出スヘキ旨同月中御布告アリ

シニ不都合ノ取調モアルニ付キ去月十五日

マテ精細取調々差出スベキ旨同九月中雛形

ヲ以テ布達ヤシトコロ此節ニ至リテモ取調

方行届カザルヨシヲ以テ猶豫申立ル向モア

リ右ハ遠境ノ地ナレ氏右様遲延ニオヨブハ

不都合ノコトナレハ未夕差出サハル分ハ雛

形ノゴトク取調早々差出スヘシ但相場ハ素

ヨリ其土地通用ノ紙幣ニ付キ管下ノ人民當
七月十四日正金札ト取引平均ノ相場ヲ以
テ定ムヘキニ中ニハ官許相場ナト、名目ヲ
唱ヘ其外縣廳ニ於テ隨意ノ相場ヲ立テ申出
ガセシ向モアルヨシ御趣意ニ悖リ不都合ノ
事ニ付キ右ハ全前同日土地人民取引ノ相場
二個所以上ノ分ハ平均ノ上ニテ不都合ナキ
ヤウ取調申出ベシ○十二月十二日布達ニ日
ク大藏省紙幣寮狹少ニ付キ八代洲河岸元土
木測量所ヘ今十二日引移リシニ付テハ以後

紙幣ニ關係スル事件ニ付キ尋問ニ及フトキ
ハ紙幣頭ヨリ達シ次第同所ニ至リ引合ヘシ
尤トモ紙幣ニ關係スル諸願同等ハ従前ノ如ク
同省ヘ差出スヘシ但紙幣製造ノ器械并遣殘
地紙ノ類ハ直ニ紙幣寮ヘ差出シ屆濟書而已
同省ヘ差出スヘシ○同月十四日御布告ニ日
ク今般諸縣新置ニヨリ舊藩々管轄地ノ内兩
縣ニ引分レシ向キ従前其地方通用ノ藩札取
扱ノコトハ當七月十四日ノ相場ヲ以テ雙方
トモ交通ヤシメ右兩縣ニ限り上納ニモ受取

ルヘシ尤トモ前條札ニ關係ノ事務ハ其發行ノ舊藩廳所屬ノ新縣ニ於テ取扱フヘシ憲法類編

○同月同日御布告ニ曰ク新貨ノ鑄造成大ニ施行アルヘキナレトモ夥多ノ古金銀ヲ一時ニ改鑄ナシガタク依テ公私融通ノタメ三井組ニ命シ高三百萬圓ヲ限り政府在來ノ古金銀ヲ引當トシテ正金引替ノ證券ヲ製造セシニ付テハ當十月中布達ノ旨モアレトモ今ニ至ルマテ彼是嫌疑ヲ挾ミ取引差障リ遂ニ一般ノ不融通ヲ醸シ下民ノ苦情モアルヤニ聞

ユ以テノ外ノコトナリ萬一向後右証券取引ニ付キ心得違ノモノアラハ嚴重處置スベシ憲法類編

○同月十八日御布告ニ曰ク舊藩札ハ當七月十四日ノ相場ヲ以テ引替ニナルヘキ旨先般御布告アリ尚新縣ニ於テモ支消ノ見込ヲ立テ申出ヘキ旨達シ置キシトコロ右ハ追テ大藏省ニ於テ悉皆支消ノ方法ヲ設クルニヨリ別段意見申出ルニ及ハズ尤トモ準備金ハ調書ヲ差出シ早々同省へ納ムヘシ憲法類編

○同月二十三日御布告ニ曰ク舊藩々ニ於テ製

造ノ錢札ハ當八月布告セシゴトク追テ引替
 ナルヘキナレトモ當分ノ内其縣々管内限七
 月十四日ノ相場ヲ以テ今般布告ノ銅貨價位
 ニ比較シ譬ヘハ百文錢札ノ相場七月十四日
 四拾八文ナレハ貳厘錢貳枚ト比較シ其他總
 テ右ノ比較ヲ以テ通用シ端錢壹文未滿ハ切
 捨計算スヘシ但兩札ハ新貨條例ニ揭示ノ兩
 圓對當ノ條ニ照準スヘシ類編法○同月二十七
 日御布告ニ曰ク維新以來太政官并民部省發
 行ノ金札製造ノ粗ナルニヨリ贗造ヲ謀ル者

之アリ且又從來舊藩ヤニ於テ發行ノ金銀錢
 札ハ其管轄限通用ノコトニ付キ一般流通ノ
 便ヲ失ヒ其弊害少ナカラス依テ今般多端ノ
 際莫太ノ入費ヲ厭ハス精工ノ新紙幣百圓五
 拾圓貳拾圓拾圓五圓貳圓壹圓五拾錢貳拾錢
 拾錢五錢ノ各種ヲ製造シ來壬申ノ年二月十
 五日ヨリ右各種ノ内差向壹圓五拾錢拾錢ノ
 三種ヲ發行セシメ追々製造成功ノ都合ニヨ
 リ從來官藩兩様ノ金札ト引換ルニヨリ厚キ
 御趣意ヲ體認シ疑念ナク通用スヘシ尤トモ

一般引替ノ都合ハ猶追テ達スヘシ憲法類編○同月同日御布告ニ曰ク舊藩々製造ノ紙幣ハ當辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ引替ヘニナルヘキ旨仰_セ出サレシトコロ今般舊銅貨ノ品位ヲ新貨ニ比較定メラル、ニヨリ各種紙幣モ同様新貨相當ノ定位ヲ定メラル、ニ付キ大藏省ヨリ布達スヘケレハ此旨兼テ心得ヘシ憲法類編○同月御達ニ曰ク来二月十五日ヨリ新製ノ圓札ヲ發行セシムルニ付テハ僻郷小民トモ或ハ新奇ノ思ヒヲナシ厭忌ノ患ヲ

生スルモ計リガタシ發行ノ際ニ臨ミ右體ノコトアルベカラザレハ各地方廳等ニ於テ厚ク注意シ管下人民ニ布達行届クヤウ取計ヲヘシ尤トモ各府縣へ各種ノ紙幣拾五揃_ツ、廻シ其内一揃ハ各種印章及ヒ書込文字等ノ場所へ張紙_{ハカミ}ヲ以テ記入セシニヨリ各地方廳ニ於テ同様取計ヒ都會ノ地又ハ人民輻輳ノ場所へ揭示シ置キ廣ク人民へ示スベシ○同月大藏省布達ニ曰ク舊藩々製造楮幣ノ内銀札通用ノ場所ハ辛未七月十四日ノ錢相場同

七月中達シタル楮幣通用相場取調方ノ振合ニ準シ取糺シ雛形ノコトヲ記載シ往返ヲ除クノ外日數十五日ヲ限り遅延セス差出スヘシ○同月新貨幣舊藩製造楮幣價格比較表ヲ布達シ算則ヲ定ムルコト左ノコトシ比較表ハ附録藩札部毎藩ニ掲載ス因テ之ヲ畧ス

第一則

錢札ハ調錢ト九六錢トヲ區別シ届相場九六錢拾貳貫五百文以下ナルハ辛未十二月廿二日在來銅貨ト新貨トノ比較法ニ從ヒ都テ九

六錢百文新貨八厘相當ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム但シ拾貳貫五百文ヨリ以上ナレハ其儘之ヲ用ヒテ新貨ノ相當ヲ算出ス

第二則

銀札ハ各地辛未七月十四日ノ銀錢相場ニ照合シ其錢ノ額貢ヲ算出シ第一則ノ算則ヲ以テ新貨ノ相當ヲ定ム

第三則

金札ハ辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ直ニ新貨相當ノ價位ヲ定ム

第四則

新貨ニ毛ノ品類ナシ故ニ厘位ヲ限リテ五捨
六入トス若シ札壹枚ノ額負壹厘未滿ナルハ
貳枚或ハ幾枚ヲ併セテ之ヲ厘位ニ滿テルヲ
極度トナシ新貨トノ相當ヲ定ム厘未滿ノ取
捨ハ前文ノ算則ニ從フ

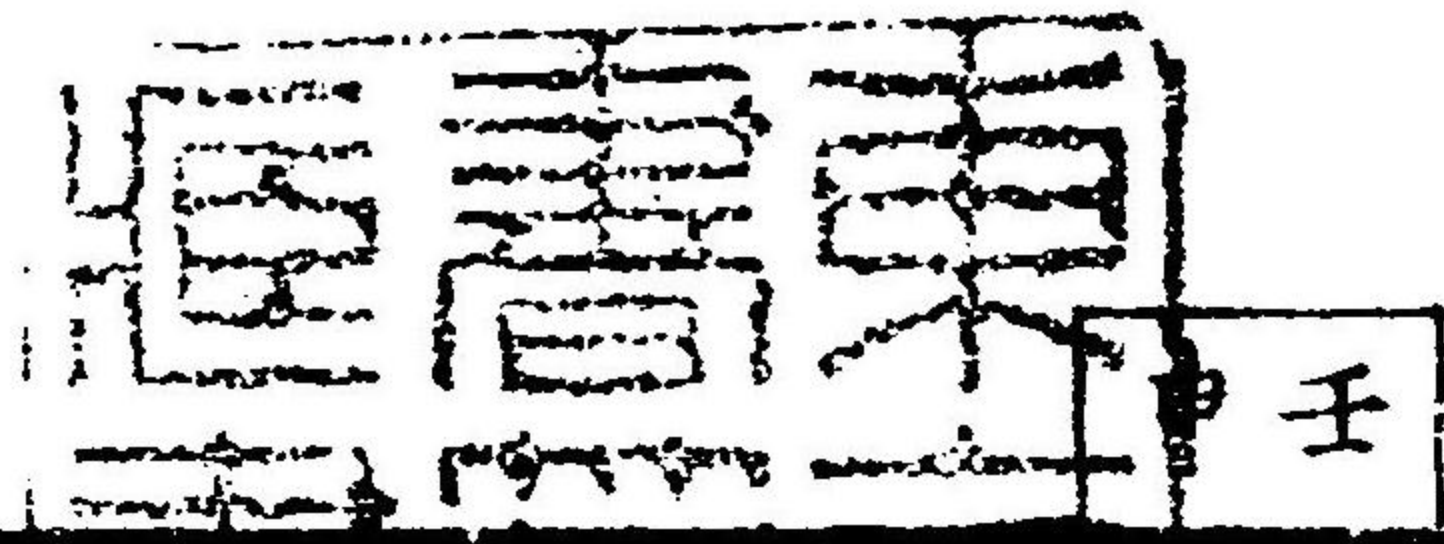
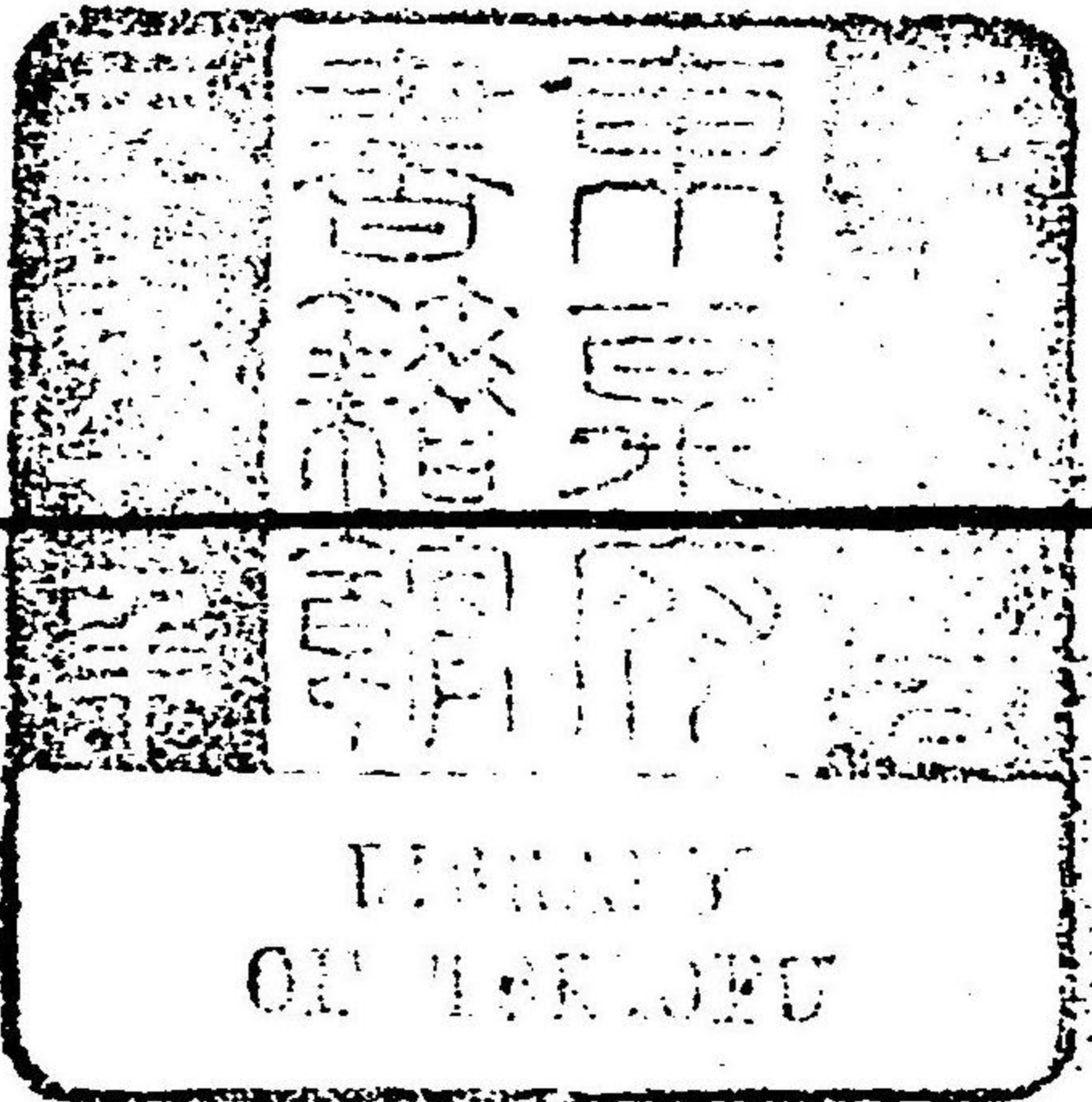
大日本貨幣史卷十五終

明治十年刊行紙幣

大日本貨幣史

大藏省





明治十年圖書局交付

大日本貨幣史卷十六

紙幣寮御雇吉田賢輔纂述

紙幣部

明治五年開拓使ニ於テ三井組ニ命シ正金引換
 ヲ製造發行スルコトヲ令ス○東京大阪函
 館所ニ貸附會所ヲ置クコトヲ開拓使ヨリ
 ス○舊藩札製造ノ器械等ヲ燒却ス○舊藩
 ヲ管轄地ノ二縣ニ引分レタルモノ藩札取扱方
 ノコトヲ令ス○舊藩札ヲ以テ租税上納ノ方法

ヲ令ス○神田橋ノ内へ紙幣寮引キ移リニヨリ
 舊藩紙幣製造器械等ヲ同寮へ差出スベキコト
 ヲ令ス○舊藩札ハ大藏省ニテ支消方ヲ設クル
 ニヨリ見込申出ルニ及バザレドモ準備金ノ貸
 附ニナリタルモノ上納ノコトヲ令ス○紙幣寮
 書類焼失ニヨリ紙幣ニ關スル諸願等指令未タ
 了ラサルハ再ビ本書控トモ出スベキコトヲ令
 ス○大藏省ヨリ新紙幣押印ノコトヲ上稟ス○
 引揚ゲノ紙幣焼却ノコトヲ令ス○開拓使證券
 ノ製造其功ヲ終フ○大藏省ヨリ新紙幣押印ノ

コトヲ上稟ス○正金金札交換ニ打ヲ取り打ヲ
 出スモノヲ新律綱領ニ照シ處分スルコトヲ令
 ス○新紙幣押印改正ノコトヲ令ス○大藏省ヨ
 リ貳拾圓、五錢、兩種ノ新紙幣ヲ製造スルヲ止シ
 コトヲ上稟ス○藩札各種一ト通りヅ、大藏省へ
 出スベキコトヲ令ス○新貨幣舊藩札ノ價格比
 較算則ヲ定ムルコトヲ令ス○藩札各種一ト通り
 ズ、出スベキコトヲ督促ス○藩札製造器械等
 ヲ焼却ス○藩札ノ貸附ニナリタルモノ上納ノ
 コトヲ令ス○拾圓、五圓、貳圓ノ三種新紙幣ヲ發

行スルコトヲ令ス ○舊藩々管轄地ノ兩縣ニ分
 レシモノ藩札取扱方ノコトヲ大藏省ヨリ上稟
 ス ○百圓五拾圓ノ新紙幣來着ニ付キ布告法ノ
 コトヲ大藏省ヨリ上稟ス ○正金札ヲ以テ藩
 札ヲ買ヒ集ムルコトヲ禁シ疑念ナク藩札通用
 スヘキコトヲ令ス ○藩札ヲ以テ貸借セシモノ
 返辦ノ方法ヲ令ス ○藩札五錢以上ハ引換其以
 下ハ押印通用スヘキコトヲ令ス ○舊藩管轄地
 ノ兩縣ニ分レタルモノ藩札取扱方ノコトヲ令
 ス ○司法省ニ於テ藩札ヲ以テ贖金上納ノ方

法ヲ定ム ○藩札ノ準備金ニナリタルモノ上納
 方ノコトヲ令ス ○藩札ノ準備金ニナリタルモ
 ノ上納ノ時ハ三井組為換方ニテ預リ置キ預リ
 手形ヲ渡スベキコトヲ為換方ニ令ス ○藩札各
 種一通リヅ、出スヘキニ付テハ五月令セシ分
 ト合シテ三通リヅ、出スベキコトヲ令ス ○百
 圓、五拾圓、ノ新紙幣寸法等ノコトヲ令ス ○三府
 開港場ヲ除キ其他へ百圓、五拾圓、ノ新紙幣見本
 ヲ下附セサルコトヲ令ス ○壹圓、五圓、拾圓、ノ大
 藏省及ヒ開拓使兌換證券并ニ古金銀預リ證券

へ加印ノコト及ヒ五拾錢、貳拾錢、拾錢、ノ小券引換ノコトヲ令ス○藩札五錢以上交換、五錢未満押印通用ノコトヲ令ス○金札正金一時引換力タキニ付キ公債證書ヲ發行スルコトヲ令ス○藩札引換ノコトヲ令ス○藩札五錢以下押印ノ印章ヲ下附スヘキコトヲ令ス○藩札貸附ニナリタルモノ上納等ノコトヲ令ス○新紙幣紛失ニ付キ交換注意スヘキコトヲ令ス○藩札五錢以下押印ハ札面文字鮮明ノ處へ捺スヘキコトヲ令ス○五拾錢、貳拾錢、拾錢、ノ正金兌換證券ハ

新紙幣ト交換スヘキコトヲ令ス○新舊洋銀券ヲ交換ス○未發行ノ藩札ハ速ニ上納スヘキコトヲ令ス○望ミノモノハ其力ニ應ジ銀行ノ創立スヘキコトヲ令ス○舊藩管轄地ノ兩縣ニ分レシモノ藩札取扱方ノコトヲ十一縣ニ令ス
是歲正月十四日御布告ニ曰ク今般北海道開拓使ニ於テ為替座三井組ニ命ジ政府在來ノ古金銀ヲ引當トシテ高貳百五拾万圓ノ正金引替証券拾圓、五圓、壹圓、五拾錢、貳拾錢、拾錢、ノ六種ヲ製造シ來ル十五日ヨリ發行シ海關稅

ヲ除クノ外租税其他ノ上納ハ勿論日用公私
 ノ取引ニ至ルマテ都テ正金同様通用セシメ
 且右證券ハ大藏省發行ノ證券ト同模様ニテ
 開拓使印并次官檢印ヲ押シ區別ヲ立テ東京
 大坂箱館三箇所ノ三井組ニ於テ新貨幣出来
 次第追々引替フベシ尤トモ至急引替申出ノ
 者ハ在来ノ貳分判ヲ以テ引換フルニヨリ諸
 民一毫疑念ナク從前金札同様通用スヘシ憲法
類編○同月二十二日開拓使伺書ニ曰ク今般東
 京大坂函館三箇所ニ貸附會所ヲ置キ北海道

税金定額金發行證券等遣拂見込高ノ餘分ヲ
 貸附ケ相當ノ利分ヲ收納シ追々證券消盡ノ
 方法且移民ノ融通等非常ノ豫備ヲ為サンヲ
 欲ス
 御附紙ニ曰ク伺ノ通り憲法類編○同月二十三日
 告知ニ曰ク舊藩々ニ於テ從來紙幣製造ノ器
 械并遣殘地紙類ノ東京大藏省并大坂出張出
 納寮へ差出セル分ハ左ノ表面ノコトク燒捨
 ツ

但銅版ノ類ハ取纏メシ後追テ破却スヘシ

金銀米錢札板木合貳千五百七拾貳枚

同印類合三千貳百六拾六顆

同摺掛殘紙合四拾貳万千六拾壹枚

紙寸定木百七拾七本

紙漉篋カセ布共四拾壹枚

札用裂離形貳

金澤縣

鹿兒島縣

仙臺縣

豐浦縣

柏原縣

松代縣

西端縣

福井縣

真島縣

勝山縣

安志縣

福江縣

松江縣

岩國縣

三日月縣

西大路縣

新見縣

大野縣

小濱縣

清末縣

延岡縣

德島縣

明石縣

豐津縣

山家縣

成羽縣

山崎縣

柳生縣

岡山縣

淀縣

九岡縣

田邊縣

庭瀨縣

高田縣

豐岡縣

飯野縣

沼田縣

高松縣

鴨方縣

唐津縣

鶴田縣

篠山縣

| | | |
|-----|-----|------|
| 園部縣 | 岡田縣 | 又留米縣 |
| 臼杵縣 | 人吉縣 | 千束縣 |
| 前橋縣 | 下館縣 | 舉母縣 |
| 佐伯縣 | 廣瀨縣 | 佐土原縣 |
| 柳河縣 | 母里縣 | 和歌山縣 |
| 淺尾縣 | 鯖江縣 | 犬山縣 |
| 舞鶴縣 | 島原縣 | 小松縣 |
| 大洲縣 | 日出縣 | 西條縣 |
| 花房縣 | 田原縣 | 芝村縣 |
| 麻田縣 | 柳本縣 | 岡崎縣 |

| | | |
|------|-----|-----|
| 宇和島縣 | 高粱縣 | 館林縣 |
| 三池縣 | 津縣 | 彦根縣 |
| 鳥羽縣 | 足守縣 | 長島縣 |
| 峯山縣 | 豐橋縣 | 岡縣 |
| 龜山縣 | 高取縣 | 大津縣 |
| 大垣縣 | 松山縣 | 中津縣 |
| 丹南縣 | 鳥取縣 | 官津縣 |
| 龍野縣 | 姫路縣 | 九岡縣 |

總計九拾六縣舊藩造一分

紙漉器械拾貳箇

紙漉師納

右辛未十二月二十四日洲崎明神前原ニ於テ
紙幣寮検査寮官負立會燒捨ッ

銀札板木合拾八組

同摺立地紙一式為金拾八万貳千五百六拾
兩分
伊万里縣

錢札摺掛白遣殘紙共拾八万千六百枚

篠山縣

右伊万里縣ノ分ハ辛未十一月十日大坂同縣
邸内篠山縣ノ分ハ同月二十六日同所出張出
納寮構内ニ於テ同寮官負并縣々官負立會燒

捨ッ

憲法
類編

○二月十三日大藏省布達ニ曰ク舊

藩々管轄地ノ内甲乙二縣ニ引分ル向ニ於テ

其地方通用ノ舊藩札取扱方ハ兼テ達シ置キ

シ辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ雙方トモ交

通セシメ新置甲乙ノ縣ニ限リ上納ニモ受取

ルヘシ云々トアルハ譬ヘハ左圖ノ如ク元前

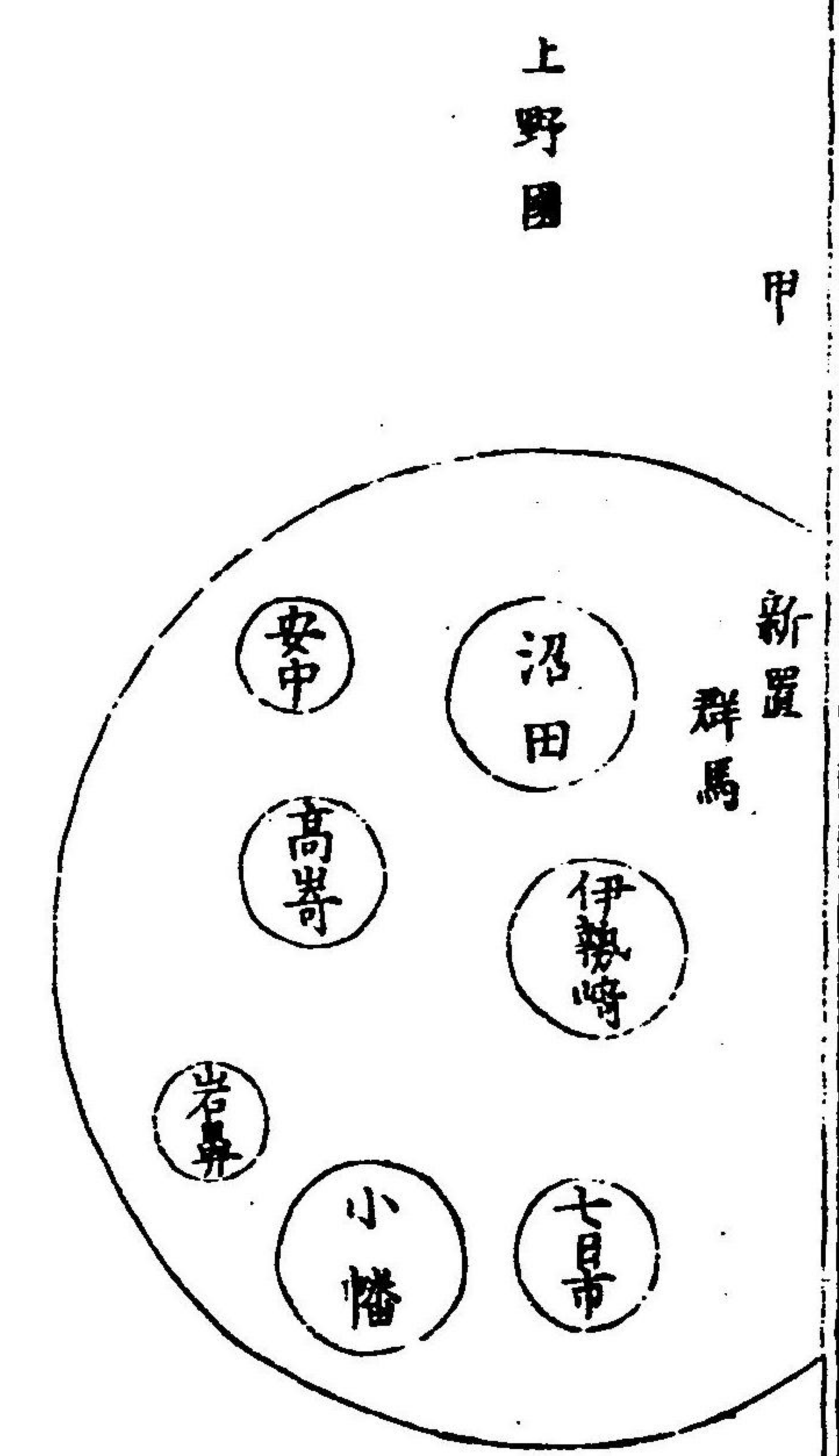
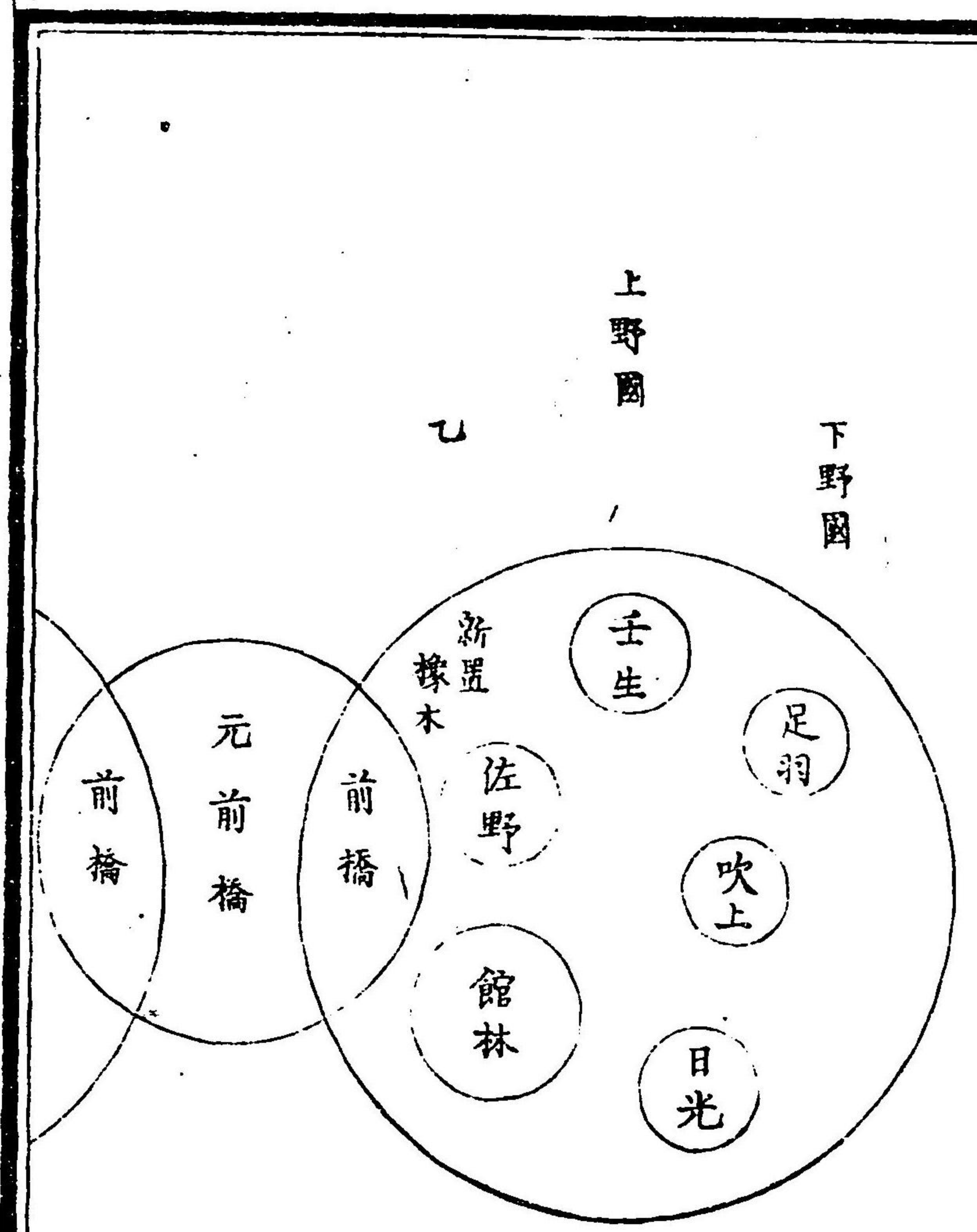
橋管轄地今般群馬椽木ト甲乙二縣ニ引分ル

分元發行ノ舊前橋管轄地ニ限リ双方交通セ

シメ新置甲乙ノ二縣ニ於テ公納ニモ受取ル

コトニテ群馬椽木兩縣管内上州野州一般双

方受通公納ニ受取ルニハアラスト心得ベシ
 且新置兩縣へ引分レサル舊藩管轄地ノ分ハ
 勿論其舊藩地ヲ限リ公納ニ受取ルヘシ



以上 類編法 ○同月同日大藏省布達ニ日夕舊藩
 製造ノ紙幣ノ以テ租税上納ノ向ハ地方官
 員立會從來藩札取扱ノ者へ命シ篤ト検査シ
 百兩以内適宜ニ粘封表面へ金高札數并辛未
 七月十四日ノ相場ヲ記シ裏面へ右改メシ者
 ノ姓名年月日記載證印ノ上別紙雛形ノ如ク

上納目錄ヲ副へ納入取計フヘシ
但小札ハ下方融通ノ辨モアルヘキニヨリ
其邊注意シ可成丈壹枚五錢此永五拾文以上ノ
札ヨリ上納取計フヘシ

證

一金何万何千兩也

此紙幣何万何千兩

但辛未七月十四日相場
金壹兩ニ付紙幣何程

此札何拾何万枚

包數幾ツ

内

金何程札

何枚

銀何程札
錢何程札

何枚
何枚

員數區別ニ隨ヒ口譯可記載事

右ハ舊何藩製造ノ紙幣ヲ以テ同管内限り辛

未年租税ノ内へ仕譯書ノコトク上納憲法類編○

同月二十九日大藏省布達ニ曰ク去ル二十六

日和田倉御門内ヨリノ出火ニテ紙幣寮類燒

ニ付キ神田橋御門内元鹿兒島邸へ引移ルニ

ヨリ紙幣ニ關スル諸願伺届等ハ大藏省へ差

出シ器械遺殘地紙等ハ同寮へ差出スヘシ憲法

類編 ○同月同日大藏省布達ニ曰ク舊藩造紙幣ハ大藏省ニ於テ悉皆文消ノ方法ヲ設ルニヨリ別段見込申出ルニ及ハス尤トモ準備金ハ調書差出シ早々納ムヘシト辛未十二月布告セシニ付キ調書差出シタル内貸附ニナリタル分ハ取立次第米ニテ備置ノ分ハ地拂ノ上代金ヲ以テ上納ノ積差向現高ノ分、兩替町、為替座方ヘ持込シ預ケ尤トモ大坂便利ノ向ハ同所出張出納寮附属為替座ヘ預ケ右預リ手形ヲ以テ紙幣寮ヘ納ムヘシ

但未夕調書ヲ差出サザル向ハ至急差出スベシ且準備金ノ内貸附等ニナリタル分ハ上納ノ期限精細取調来ル三月ヲ限り差出スベシ
 以上類編法 ○同月晦日大藏省布達ニ曰ク去ル二十六日和田倉御門内ヨリノ出火ニテ紙幣寮類焼書類焼失ニ付テハ紙幣ニ關スル諸願伺届ノ内未夕差圖濟マザル分ハ本紙扣トモ至急當省ニ差出スベシ
 但己巳十二月以來舊藩縣ヨリ差出シタル

諸願伺届ノ差圖濟ミタル分ハ寫取揃差出
 スマシ且引替仰出サレタル後雛形ヲ以テ
 達シタル取調帳焼失ノ分ハ追テ紙幣寮ヨ
 リ達シ次第早々當省ニ差出スヘシ
 以上○同月大藏省伺書ニ曰ク新紙幣各種ト
 モ裏面中央へ捺スヘキ大藏卿ノ官印彫刻成
 功セシガ右官印圓徑曲尺壹寸七分程ノ大サ
 ニ付キ五拾錢以下ノ小札へ捺セハ札面餘地
 少ク且出納記録ニ寮ノ割印ヲ押セハ各印密
 接シ札面見苦シクナルヘキニ付キ五拾錢以

下ノ小札ニハ更ニ適宜ノ小形ニ彫刻シテ押
 印セント欲ス

御附紙ニ曰ク伺ノ通り○三月十日御布告ニ
 曰ク新紙幣ハ當二月十五日ヨリ發行ノコト
 ヲ昨年十二月達シタリ就テハ追々引揚ニナ
 リシ太政官并民部省ト書載アル楮幣三百五
 拾五万千七百四拾三兩餘東京八代洲河岸舊
 紙幣寮跡ニ於テ来十五日焼捨テ其當日下民
 ノ縦觀ヲ許ス
 附 京都大坂ニテ金札焼捨高等ノ事

本書ノ外前條布告ヲ云フ 猶又辛未十月ヨリ十二月

マテ引揚高貳万五千貳拾八兩三分三朱差加
ハ綜數合三百五拾七万六千七百七拾貳兩貳
分貳朱ナリ

京都大坂兩地ニ於テ去辛未十一月十五日マ
テ引換ニナリタル楮幣當三月二十四日大坂
ニ於テ出納寮官負立合左ノコトク燒捨ッ
一 太政官金札三万三千百七拾八兩三分三朱
ナリ

一 民部省金札四百五拾三兩三分三朱ナリ

去己巳年中大阪為替會社ニ於テ製造ノ錢
券貳拾万貫文ノ内當四月マテ取集ノ分同
月十九日同所ニ於テ出納寮官負立會左ノ
通燒捨ッ

一 錢券拾九万六千八百八拾六貫三百文ナリ

以上憲法類編 ○同月是ヨリ先キ辛未十二月開拓

使證券ヲ製造スルコトヲ始メ本月ニ至テ其
功ヲ終フ○四月五日大藏省伺書ニ曰ク新紙
幣表裏面押印ノコト昨年十二月右紙幣表面
右側ハ紙幣ノ要旨ヲ略記シタル印ヲ檢スヘ

シト伺濟ミタレトモ右表面彩紋黒地へ右細
 字ノ印ヲ捺シテハ字體分明ナラス紙中ヲ汚
 シ押印ノ詮ナキニヨリ右押印ヲ止メ且裏面
 両側へ出納記録両頭ノ割印モ出納頭ノ分割
 印ヲ止メ右ヲ裏面側へ移シ全印ヲ捺スルヲ
 表裏面トモ押印ノ模様恰好ニ付キ右ノコト
 ク押印セント欲ス
 御附紙ニ日ク伺ノ通り○同月十八日御布告
 ニ日ク正金札交換ニ打ヲ取り并打ヲ出ス
 者ノ罰金ハ己巳五月令シタルコトアレトモ

今後新律綱領ニ照シ處分ス太政官日誌○事
ハ三貨部ニ詳ナ
 ○同月十九日御布告ニ日ク昨未十二月中
 新紙幣各種ヲ發行ノ見本トシテ達シオキシ
 カ右紙幣表面押印ノ内紙幣ノ要旨ヲ略記シ
 タル印ハ差止メ且裏面左右兩側割印ノ内右
 側ノ分表面左側へ移シ割印ニシテ之ヲ發行
注意
類編 ○同月二十三日大蔵省伺書ニ日ク今
 般發行ノ新紙幣各種ノ内貳拾圓以下新貨幣
 同様各種製造ノコトヲ日耳曼國へ注文アリ
 テ追々製造出来到着セシガ右紙幣ノ内貳拾

圓ハ流通ノ不便モアリ五錢ハ小札ニ付キ製造モ抄取ラス右等ノ便否ヲ斟酌シ貳拾圓五錢兩種ノ製造ヲ止メント欲ス就テハ昨年十二月中各府縣等へ御布告ノ文中各種ノ内右ノ兩種ハ發行コレナシト更ニ御布告アラシムヲ欲ス

御附紙ニ曰ク伺ノ通り○五月二十五日大藏省布達ニ曰ク諸藩ニ於テ製造ノ札ニ通りツ、大藏省へ差出スヘシト庚午十二月御布告アリテ舊藩々ヨリ従前製造ノ札ヲ差出セシ

ガ當二月紙幣寮類焼ノ節、燒失セルニ付テハ舊藩々并舊旗下等ニ於テ従前製造ノ分ハ勿論維新後製造ノ分トモ當時通用ノ分成ルヘキ大ク手摺レ汚レナキモノ目錄ヲ副へ各種一ト通りツ、往返日數ヲ除クノ外十日ヲ限り大藏省へ差出スヘシ憲法類編○六月九日大藏省布達ニ曰ク舊藩々管内限り通用ノ紙幣ハ去辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ追テ引換仰出サレシガ右紙幣ノ内錢札并従前銀札ノ分ハ戊辰年八月銀通用停止ノ後錢札ニ改造又ハ

銀札ノマ、錢札ニ代用スル分トモ同十二月
二十二日御布告ノ銅貨價位ニ比較シ假令ハ
百文錢札ノ相場七月十四日四拾八文ナレハ
貳厘錢貳枚ト比較シ其他總テ右ノ比較ヲ以
テ通用スヘシ端錢壹文未滿ハ切捨計算スヘ
キ旨同二十三日御布告ノ後右舊銅貨ノ品位
新貨ニ比較定メラルニ付テハ各種紙幣モ同
様新貨相當ノ定價ヲ定メラルニヨリ大藏省
ヨリ達スヘキ旨同二十七日御布告後新貨幣
ト舊藩製紙幣トノ價格比較表追々上水ナリ

シガ誤解セル向モアルヨシ聞ユ右ハ專ラ人
心ニ關係シ歲入歲出ノ計算ニモ係ルコトニ
付キ向後亦都合ナキヤウ左ニ達ス
價格比較表等則巨細ノコトハ猶^ホ別紙達シノ
趣ヲ以テ改正相場ヲ仕出シ舊藩札通用ノ地
へ布告スヘシ
舊藩札公納受取拂出方ハ新貨ト舊銅貨トノ
比較ニ依リ錢札價位ヲ定メラレ辛未十二月
二十三日御布令ノ趣管内へ布達ノ日ヨリ錢
札九十六文ヲ以テ新貨八厘ニ比較シ猶^ホ其後

達セシ價格表モ是亦管内へ頒布ノ日ヨリ施行スルコト、心得右幸未十二月二十三日御布令以前ノ分ハ銀錢札トモ兼テ届ケ出シ同七月十四日ノ相場ヲ以テ扱フコト、心得ハシ
價格比較表ヲ未夕渡サ、ル分ハ全ク調書差出方遅延或ハ推問調査等ノ都合ニヨリ延引セシコトニテ舊藩造紙幣當時通用ノ場所へハ都テ上木次第渡スヘキニヨリ管下ノ人民心得違ナキヤウ達シ置クヘシ

第一則解

一 錢札ハ其土地通用ノ仕来リニ依リ調錢ト九六錢トヲ區別シ辛未十二月二十二日御布令アリタル在来銅貨ト新貨トノ比較表ニ從ヒ新貨壹圓ニ付キ調錢ナレハ拾貳貫文九六錢ナレハ拾貳貫五百文ヲ以テ定額トシ同年七月十四日ノ届相場右ヨリ以内ナルハ此定額九六錢ハ乗除ノ計算ヲ要スル時調錢ニ直スヘシ以下コト同シヲ法ニシテ錢札ノ額負ヲ割リ則新貨ノ價ヲ出スヘシ若シ届相場右定額ヨリ以

上ナルハ元來其低下尋常ナラスニテ新貨
以較ノ法ニ用ヒカタケレハ直ニ其相場ヲ
以テ算當ス又札面額員錢何多トアルハ壹
匁ニ付キ何程ト定リタル正錢ノ數ヲシテ
錢札届相場何百何拾目へ懸ケ壹兩ノ正錢
ヲ出シ前圓ノ定額ニ比較シ其内外ヨリ前
段ノ例ニ倣ヒ之ヲ取捨シテ法トナシ錢何
匁ナル額員へ壹匁當リノ錢數ヲ懸ケ錢員
ニ直シ置キ是ヲ割テ新貨ノ價ヲ出ス

第二則解

一 銀札ハ其通用スル所ノ辛未七月十四日錢
相場第一則ノ解ニ舉タル新貨壹圓ノ定額
錢員ヨリ以上ナレハ同日銀ノ届相場ヲ直
ニ用ヒテ是ヲ法トシ銀札ノ額員ヲ割リ新
貨ノ價ヲ出ス若右定額ヨリ以下ナルハ譬
ハ届相場銀百匁調錢拾貫文ナレハ此拾貫
文ヲ法トシ實ニハ壹圓ノ定額調錢拾貳貫
ヲ置キ此内、法ノ拾貫文ヲ引ケハ残り貳貫
文ト成ル法ナル拾貫文ニテ除ケハ二割差
ヒノ歩合出ル是へ元一ヲ加へ一二トナル

ヲ法トナシ銀相場百目ハ懸レハ壹兩ニ付
キ百貳拾目ト成ルヲ法トシテ銀札ノ額負
ヲ割リ新貨ノ價ヲ出ス

第三則解

一金札ハ縱令ハ辛未七月十四日ノ相場金壹
兩ニ付キ藩製金札壹兩貳分ナラハ法ニ金
壹兩實ニ藩札ナル壹兩貳分此永壹貫五百
文ヲ置キ法ノ壹兩ヲ引ケハ残り貳分トナ
ルヲ法ナル壹兩ニテ割レハ則チ五割差ヒノ
歩合出ル是ハ元一ヲ加ヘ一五トナルヲ法

ニシテ藩札ノ金額ヲ割リテ新貨ノ價ヲ出
ス餘ハ準フテ知ルマシ

第四則解

一新貨ハ厘限リニテ毛位ニ當レル品類ナシ
故ニ何札ニテモ新貨ノ價ヲ出ストキ厘位
ヲ限リトナシ毛位ノ數五毛以下ハ之ヲ捨
テ六毛以上ナレハ刻上グテ壹厘トス若シ
札壹枚ノ員數新貨壹厘ニ滿タサルハ幾枚
モ併セ前ノ算則ヲ以テ新貨ノ價ヲ算出シ
壹厘ノ數ニ滿ルヲ極度トナシ厘未滿ヲ取

捨スルコト前ニ同シ

以上○同月十七日大藏省布達ニ曰ク舊藩々
 ニ於テ製造ノ札各種一通リツ、往復日數ヲ
 除クノ外十日ヲ限り差出スヘシト當五月二
 十五日達シ置キシカ右ハ至急御用ニ付キ未
 差出サ、ル向ハ右日限ニ拘ラス急飛ヲ以テ
 縣地へ申達至急差出スヘシ○同月二十三日
 御布告ニ曰ク舊藩々ニ於テ從來紙幣製造ノ
 器械遺殘紙并引揚損札發行セサル分トモ大
 藏省へ追々差出ノ分、壬申五月二十四日ヨリ

晦日マテ雨天ヲ除キ木挽町六丁目原地ニ於
 テ紙幣寮官負立會左ノ表面ノコトク燒捨ツ
 但銅版ノ類ハ取纏メ追テ破却スヘシ

福岡縣

- 一 銀百目札ヨリ貳分札マテ高貳千七百八拾
貳貫九百四拾三匁六分
- 但損札并引揚札ノ分
- 一 銀三匁札ヨリ貳分札マテ高五千五拾貳貫
五百三拾目
- 但發行セサル分

一 銀百目ヨリ貳分マテ版木貳拾八組并小印
四拾八顆

秋月縣

一 銀拾分札ヨリ三分札マテ高千三百四拾九
貫貳拾目四分

但引揚ノ分

松山縣

一 藩札地紙白小截八千枚

府内縣

一 銀拾分ヨリ壹分マテ版木貳拾壹面小印六

顆

森 縣

一 銀五分ヨリ壹分マテ版木九面入子版ニツ

綾部縣

一 銀拾分ヨリ五分マテ版木四組小印拾貳顆

堀江縣

一 綿鹽切手金壹分ヨリ錢四拾八文マテ版木
八面小印四顆

以上○同月二十五日大藏省布達ニ曰ク舊藩
々ニ於テ製造紙幣ノ内舊藩縣中會計物産方

或ハ管内へ貸付ニナリ居リシト調書ノ内ニ
 記載アリ右戻入返納ノ期限ナキ向多クシテ
 不都合ナリ就テハ右ノ類新置府縣ニ於テ篤
 ト取調此節マテ取立ノ分ハ早々上納スヘシ
 年賦貸付等ニナリ居リ一時取立カタキ分ハ
 價格比較表ノ新貸價ヲ以テ金高ヲ定メ一旦
 上納更ニ拜借ノ上、夫々元年賦ノ内精々年賦
 ヲ縮メ慥成ル引宛ヲ取り貸渡年々十一月限
 上納ノ積往復日數ヲ除キ二十日ヲ限リ精細
 取調伺出シ尤トモ上納拜借トモ證書ヲ以

テ取計ヒ苦シカラス

但準備金ノ内、米ニテ備置分ハ地拂代ヲ以
 テ上納取計ヒ貸附等ニナリ居ル分ハ取立
 上納ノ期限當三月ヲ限リ申出ヘキ旨同ニ
 月中達シオキシニ此節ニ至テモ申出テサ
 ル向モアリ不都合ノコトナリ就テハ右準
 備金ノ内物産方等へ繰替置クノ類ハ早々
 繰戻上納スヘシ一時取立カタキ年賦貸付
 等ニナリ居ル分ハ一旦上納更ニ拜借ノ上
 貸渡取立上納方并繰替置ク類ノ内戻入ナ

リカタキ分金高トモ本文同様精細取調伺
 七出ヘシ尤トモ右ノ外現高ノ分ハ最前布
 達ノコトク早々上納スヘシ
 以上定法類編 ○同月二十八日御達ニ日ク新紙幣
 ノ内拾圓五圓貳圓ノ三種製造出来當六月二
 十五日ヨリ之ヲ發行ス定法類編 ○同月大藏省伺
 書ニ日ク諸縣新置ニ付キ舊藩々管轄地ノ内
 兩縣ニ引分レシ向其地方通用ノ舊藩札取扱
 ノヨトハ辛未七月十四日ノ相場ヲ以テ双方
 交通セシメ右兩縣ニ限り公納ニモ受取り且

銅貨價位ニ比較シ通用スヘキ旨同十二月中
 御布告アリシガ新置諸縣ノ内數藩ノ舊支配
 地ハ管轄相成犬牙相接スル場所ハ從來互ニ
 交通稅納仕来リシニ舊管轄地限りノ上納ニ
 テハ甚々不融通ニナリ下民ノ苦情少ナカラス
 縣廳ニ於テモ取立方差文ノ筋アリ自然未納
 モ生スル趣右ハ元来其管内限り通用ノ為メ
 發行ノ札ニテ前同日ノ相場新貨價位不定錯
 雜ニテハ不都合ヲ生スルハ必然ノコトニ付
 キ舊藩管轄地限り公納許可ノトコロ追々金

銀錢札ノ相場治定新貨藩札ノ價格比較表最
早百藩程ハ渡シ新貨トノ對價判然タリ就テ
ハ比較表行キ渡リシ分ハ自今新置管轄内限
ハ従前ノ區別ニ拘ラス取交公納許可アラハ
融通ノ道ヲ開キ下民ノ便利モ宜シカルヘシ
尤トモ右ノ如ク許可アラハ混雜セサルヤウ
比較表行渡リシ縣々ハ追々當省ヨリ布達セ
ント欲ス

御附紙ニ日ク伺ノ通り○七月十三日大藏省
伺書ニ日ク新紙幣百圓、五拾圓、ノ兩種製造出

來來著セシニ付キ従前ノ如ク各府縣開拓使
等ハ見本御下渡ナルヘキナレトモ右兩種ハ
注文高少數ニ付キ右ノ内ヨリ御下渡ナリテ
ハ少數ノ札猶更減少シ不都合ニヨリ勘考ス
ルニ右大札ハ日常流通ノ小札ノ如キ便モア
ラサレハ中人以下ニテハ流通寥々就テハ右
兩種ハ見本御下渡見合セタク尤トモ大小各
種トモ表面鳳凰對翔雙龍并頭ノ部郭并裏面
波ニ千鳥ノ部郭トモ各種各色ノ別ハアレト
モ彩文等ハ何レモ同式ニテ只表裏輪郭ノ彩

紋ニ疎密アリ紙品モ何レモ同質ニ付キ寸法
 并表裏面摺色等御達ノミニテ敢テ人民ノ差
 問モナキ哉三府并各開港場ハ度民輻輳ノ地
 ニ付キ壹種貳枚ツ、御下ケ渡シアラシク欲
 ス
 御附紙ニ日ク伺ノ通り○同月二十二日御布
 告ニ日ク舊藩々ニ於テ製造ノ紙幣ハ辛未七
 月十四日ノ相場ヲ以テ追テ引換ナルヘキ旨
 仰出サレシ上ハ引換濟マテ疑念ナク通用ス
 ヘキノトコロ心得違ノ者アリ自然不融通ヲ

釀シ相場ノ下落スルニ乗シ正金金札ヲ以テ
 藩札ヲ買集ムル哉ノ趣、不埒ノコトナリ右舊
 藩札ハ不日引換ニナルヘキニヨリ兼テ大藏
 省ヨリ渡シオキタル新貨舊藩札價格比較表
 ノ如ク疑念ナク通用スヘシ若シ心得違ノ者
 アラハ至當ノ處置アルヘシ憲法類編○同月二十
 三日大藏省布達ニ日ク萬國普通ノ良法ニ基
 キ新貨幣ヲ鑄造シテ發行スルニヨリ従来各
 種貨幣ノ價位ヲ一定セシメン為メ辛未十二
 月中舊銅貨ノ價位ヲ定メ百文錢ヲ八厘ト定

メシハ從來ノ百文ヲ以テ八厘ニ比較シ全ク其價位ヲ落低セシメシニアラス隨テ舊藩紙幣ノ價位ヲ定ムルコト猶舊銅貨ト同一般ニテ全ク其札位ノ下落ニハアラス從前錢拾貫文銀百匁ヲ以テ貸借セシモノ今ニ至リ其札ノ價位ハ拾錢ノ比較トナルトキハ依然ハ拾錢ヲ以テ返辨スヘシ然レトモ其時ノ金相場ニ引直シ何兩ノ名義ヲ以テ貸借シ即今藩札ヲ以テ返辨スルトキハ兩位相當ノ札負ヲ以テ返辨スヘシ

憲法編類 ○同月同日御布告ニ曰ク

舊藩々製造紙幣ノ種類數多ニシテ殊ニ小札ハ數枚ニテ其價位新貨壹厘ニ足ラサル品種モアリ新紙幣ハ拾錢以上ニ付キ總テ右ヲ引換トキハ取引不便利モアルヘキニヨリ差向五錢以上ニ當ル分ノミ引換ヘ其以下ハ追テ壹錢、半錢、壹厘ノ銅貨鑄造ノ後交換スヘシ就テハ右小札當分通用中大藏省ヨリ價位比較ノ印ヲ下渡スヘキニヨリ郡村ノ區畫ト右小札ノ多寡ニ從ヒ便宜ニ致サシムヘシ尤トモ右押印ニ取掛リ及ヒ取扱手續ハ追テ大藏省

ヨリ指揮スヘシ且其押印ニ關係ノ諸入費ハ
追テ同省ヨリ下渡スヘシ憲法類編○同月廿八日
大藏省布達ニ曰ク諸縣新置ニ付キ舊藩々管
轄地ノ内兩縣ニ引分レシ向従前其地方通用
ノ舊藩札取扱ノコトハ辛未七月十四日ノ相
場ヲ以テ雙方トモ交通セシメ右兩縣ニ限り
公納ニモ受取ヘキ旨同十二月十四日御布告
ナリシニ右ハ元來其管内限り通用ノ為メ發
行ノ札ニテ何レモ各種相場不同ニ付キ前同
日ノ相場新貨價位未定ノ分錯雜ニテハ不都

合ヲ釀スハ必然ニ付キ公納ハ舊藩管轄地限
リ許可アリシニ追々金銀錢札ノ相場治定價
格比較表ヲ渡シ新貨ト三對價判然タリ就テ
ハ舊藩管轄地ヘ以較表ヲ引渡シ差支ナキ向
キハ自今新地管轄内ヲ限り従前ノ區別ニ拘
ラス交互通用公納受取苦シカラス尤トモ諸
縣トモ管轄外ハ是マテノコトク心得ヘシ且
右札ニ關係ノ事務ハ辛未十二月御布告ノ如
ク其發行ノ舊藩廳所屬ノ新縣ニテ取扱フコ
ト、心得ヘシ憲法類編○同月晦日司法省ニ於テ

藩紙幣ヲ以テ贖贖金上納方ノコトヲ決議ス
即チ左ノコトニ

一 藩紙幣ハ其縣ニ於テ天下普通ノ金幣ニ引
換包座封金ニシテ上納ノ事

一 藩々紙幣比較表以前管下ヨリ收納シ其後
比較表ニ合シテ譬ハ壹兩ノ高今日三步幾

許ニナルノ類其子細書認差出サシムヘシ
尤トモ比較表縣地到着ノ日判然引分ツヘ

事

以上意注類編 ○八月八日大藏省布達ニ曰ク舊藩

造紙幣準備金ノ内現高ノ分、納方ノコトハ當

二月二十九日達シオキシガ右準備ノ内藩札

ヲ以テ備ヘオキシ分、納メタル向ハ正金札

同様東京ハ兩替町為換座大坂ハ同所出張為

換座三井組為換方ノ内ヘ持參、右預リ手形ヲ

以テ紙幣寮ヘ納ムヘシ尤トモ價格比較表ニ

照準租税金同様粘封シテ各種内譯相場金高

等精細ノ目錄ヲ添ヘ上納スヘシ

但散布セサル縣廳現在引換未消札并全備

未發行札ノ類ハ都テ本文準備札同様東京

大阪両所ノ内便利ノ方へ納ムヘシ

以上憲法類編 ○同月同日大藏省ヨリ為換座三井

組為換方へ達シニ日夕舊藩造紙幣準備ノ内

藩札ヲ以テ備へオクノ分其外納方ハ別紙前

載ノコトク府縣へ達セシニヨリ上納目錄へ

篤ト引合ハセ追テ達スルマテ粘封ノマ、預

リ置キ正金札同様紙幣寮宛預リ手形ヲ渡

スヘシ憲法類編 ○同月同日大藏省布達ニ日夕舊

藩々製造ノ札各種一通宛差出スヘキ旨當五

月二十五日達セシガ猶ホ至急入用ニヨリ維新

前後製造ノ別ナク手摺汚レナク文章押印等

發輝トシタル分各種ニ通リツ、往返日數ヲ

除クノ外十日ヲ限り大藏省へ差出スヘシ但

當五月二十五日達セシ分ト都合三通リト心

得差出スヘシ右三通リ分ノ代り金ハ新札ヲ

以テ下ケ渡スヘキニヨリ價格比較表ノ價位

ヲ以テ受取り方申出ヘシ憲法類編 ○同月十三日

三府開港場諸縣へ御布告ニ日夕今般發行ノ

新紙幣各種トモ表裏面中央ノ一部郭ハ體裁

何レモ同式ニテ只輪郭ノ彩紋大同小異アル

ノミニ付キ百圓、五拾圓ノ兩種ハ三府各開港
 場ニ限り衆庶輻湊ノ地ナレハ追テ見本トシ
 テ一種二枚ツ、下附スヘキニヨリ差向別紙
 寸法摺色書ヲ添ヘ此旨ヲ達ス
 別紙

百圓五拾圓寸法并摺色

一 百圓

曲尺凡 五寸三分
 巾三寸五分

表面摺色 拾圓ト同色
 裏面摺色 紅記号番号拾圓ト同色

一 五拾圓

寸法 百圓

表面摺色 拾錢ト同色
 裏面摺色 壹圓ト同色
 記号番号壹圓ト同色

以上憲法類編 ○同月同日三府開港場ヲ除クノ外
 諸縣へ御布告ニ日ク新紙幣ノ中、百圓、五拾圓
 ノ兩種ハ從前ノ如ク見本ヲ下付スヘキトコ
 口各種トモ表裏面中央ノ一部郭并紙質トモ
 何レモ同様ニテ只輪郭ノ彩紋大同小異アル
 ノミニヨリ見本ヲ下付セス別紙寸法摺色書
 ヲ副ヘ此旨ヲ達ス憲法類編 ○別紙
 ○同月同日
 御布告ニ日ク昨年来發行ノ為換座三井組ト
 記載セル大藏省及開拓使正金兌換證券ノ内、
 壹圓、五圓、拾圓、等裏面糊附ノ小印紙ハ別紙雜

形ノ如ク更ニ何圓ノ名稱ヲ加印セシメ并大坂造幣寮發行ノ古金銀預リ證券ヘモ同様加印セシムルニヨリ疑念ナク通用スヘシ且五拾錢貳拾錢拾錢ノ小券ハ追々都合ニヨリ春來發行ノ新紙幣ヲ以テ交換スヘキニ付キ其場所日限等ハ追テ達スヘシ

十圓
五圓
壹圓

以上憲法類編 ○同月二十八日大藏省布達ニ曰ク去月二十三日御布告アリシ如ク舊藩々發行

通用ノ紙幣ハ差向五錢以上ノ分ヨリ交換ヲ始メ五錢未滿ノ分ハ新貨相當ノ價位押印通用セシムルニ付キ別紙手續書ヲ渡ス右交換押印手續左ノコトシ

第一條

一 辛未七月十四日ノ御布令ニ基キ從來舊藩々ニ於テ發行セル各種ノ紙幣壬申春來各縣へ渡シオケル新貨價格比較表ニ照準シ去ル七月二十三日ノ御布令ノ通り差向五錢以上各種ノ紙幣ノニ新紙幣ヲ以テ交換

イタスヘキモノナレトモ五錢以下ノ紙幣
多ク或ハ五錢以下ノ紙幣而已ヲ發行セル
藩々間々コレアリ此類ノモノハ其發行合
金高ノ三分ヲ存シオキ他ハ悉皆交換ニ附
スヘキナリ

第二條

一 右引換元金ハ東京大坂二箇所ニ於テ渡ス
ヘケレハ三河信濃越後以東ノ縣々ヘハ東
京大藏省紙幣寮越中飛驒美濃尾張以西ニ
屬スル縣々ヘハ大坂出張紙幣寮ニ於テ請

取リ令參事ヨリ記名調印ノ請取書ヲ差出
スヘシ尤トモ大坂ニ於テ受取ル者ヘハ東
京紙幣寮ニ於テ大坂出張紙幣寮宛ノ令狀
ヲ渡スヘケレハ之ヲ持參シテ受取ルヘシ

第三條

一 交換ノ事業ヲ取り行フニハ其地方ノ廣狹
ト人民ノ稠稀ヲ測リ一箇所或ハ數箇所ニ
引換所ヲ設ケ縣官出張ノ上、戸長又ハ副戸
長ヘ命ニ成ルヘク其事業ノ凝滞ナク人民
ノ不便利ヲ引起サ、ル様ノ方法ヲ施設シ

テ交換ニ從事セシムヘシ
一從來諸藩發行ノ紙幣ニ模擬贋造ヲ謀ル者
比々コレアリ即今ニ至リ人民其贋造ニ出
ルヲ知ラス恬然トシテ流通セルモノ聞カ
アルヘシ故ニ縣官ヨク茲ニ注意ニ従前札
務ニ熟シ能ク真偽ヲ辨別シ得ル者ヲ撰擇
シテ其任ニ當ラシムヘシ若シ此豫戒ヲ怠
ル時ニハ其係累ヲ遺ス事下條ノ如クナル
ヘシ

第四條

一引換タル藩札ヲ上納スルニハ百兩宛ノ封
トナシ其上面ヘ金高種類枚數ヲ精細ニ認
メ令參事ヨリ檢印ノ上ニテ別ニ金高枚數
種類等ノ明細帳ヲ添ヘ三河信濃等以東ニ
屬スル縣ヤハ東京紙幣寮越中飛驒等以西
ニ屬スル縣ヤハ大坂出張紙幣寮ヘ上納ス
ヘシ右上納ノ時ハ適當ノ官負立會開封檢
査ヲ行フヘケレハ若シ其時札負ノ不足或
ハ贋札ノ混入セルヲ發見スル時ニハ令參
事其責ニ當リ相當ノ辨金ヲイタスヘシ

但本文粗漏ノ弊害ヲ豫防スルニハ最初
 交換ニ取懸ル前其管下ニ於テ富有ノ者
 へ命シ札負検査糊封等ノ手續ヲ請負ハ
 シメ後來札封開拆ノ時ニ當リ發見スル
 所ノ不足并ニ贋札類ハ悉皆辨給セシム
 へキ様ノ約定書ヲ取替シ置クニシカス
 尤トモ右ノ事業ヲ擔當セシムルニハ其
 手數料トシテ千圓ニ付キ五拾錢ニ上ラ
 サル高ヲ目的トシ相當ノ約束ヲ以テ之
 ヲ給與スヘシ其検査ニ使役スル職工ノ

賃銀及糊封ニ用ユル紙料等ハ官ヨリ辨
 給シ其糊封等ヲ監督シ檢印ヲ押ス者等
 ノ給料ハ請負人ヨリ辨セシメ且其預リ
 中ハ火盜難其外マテ引請ヲ為サシムヘ
 シ
 一引換タル藩札ヲ東京大坂へ上納スル運送
 入費ハ可成文減少ノ方法ヲ以テ第二常備
 金ノ内ニテ立替置キ追テ明細帳ヲ以テ大
 藏省へ申立別途之ヲ受取ルヘシ

第五條

一 交換ノ節贖札類ヲ持參シテ交換ヲ請フ者
アル時ニハ其贖札ニ相違ナキノ確證ヲ持
參人ニ指示シ其種類金高枚數等ヲ帳面ニ
記シ置キ其札ハ即座ニ之ヲ斷截ニ附札價
持參ノ者ニ疑シキコトアレハ之ヲ探索
シ又ハ之ヲ推窮スルコト勿論タルヘシ其
藩札悉皆交換シ終リタル后チ既ニ斷截セ
ル各種ノ贖札類一同ニ纏メテ令參事立會
ノ上燒捨ツヘシ尤トモ其贖札斷截燒捨ニ
付シタル明細書ハ他ノ引揚札ノ明細帳ト
共ニ紙幣寮ヘ差出スヘキナリ

第六條

一 五錢未満小名ノ札類ハ壬申七月二十三日
ノ御布令ノ通り他日相當小名ノ銀或ハ銅
貨鑄造ノ上交換イタスヘキモノナレハ夫
レマテノ間小民毎日ノ取遣ヲ便ナラシム
ルガタメ各種新貨價位相當ノ印章ヲ一種
ニ付キ五顆宛渡スヘケレハ小民ノ取遣上
ニ於テ不融通ヲ引起シ毎日ノ取引ヲ妨碍
イタサル様ノ方法ヲ設ケテ押印スヘシ

第七條

一 壹厘未滿幾枚ヲ重子テ始メテ壹厘ヲ價スル如キ至小ノ紙幣ハ人民日々授受計算ノ時ニ當リ甚夕混雜ヲ生シ易シ且新貨ニ壹厘未滿ノ名稱ヲ有セス故ニ此類至小名稱ノ紙幣ハ押印ヲ要セス五錢以上ノモノ同様ニ悉皆交換ニ附スヘシ

第八條

一 押印ノ事業措置其方ヲ得スシテ數日札類ヲ掩留セシムル時ニハ小民ノ取引ヲ妨碍スルコト尠少ナラサルヘシ故ニ最初ニ渡

シタル引換金ヲ以テ五錢上下ニ區別ナク交換シ五錢以上ノ分ハ法則通り検査糊封等ノ手續ヲナシ五錢未滿ノモノハ其中ヨリ格段ノ毀損汚穢モナク文字明了ニシテ押印後數年間ノ使用ニ堪ユルモノト堪ヘサルモノトヲ撰分ケ其良ナルモノハ押印ニ不良ナルモノハ他ノ引換札同様ノ手續ヲ遂ケ上納イタスヘシ

第九條

一 前條ノ如ク押印皆濟ノ札類ハ郡村ノ大小

ト人民貧富ノ度ヲ量リテ割付ケ戸長又ハ副戸長ニ命シ日ヲ尅シテ五錢未滿ノ小札ニ交換シテ上納セシメ其引換タル小札ハ又前條ノ如ク郡村へ割付ケテ之ヲ交換シ再三右ノ手段ヲ反復シテ以テ縣内ノ小札ヲ押印シ終ルニ至ルヘシ

第十條

一 以上ノ如ク交換且ツ押印ヲ行フニハ舊藩々發行紙幣流通高扣帳ヲ備ヘオキ時々引換及ヒ押印濟ノ札高トヲ比較シ差引計算

ヲ立テ大抵發行高ノ七八割ニ至リ縣内流通ノ藩札稀少ニシテ交換ヲ請フ者絶ヘシトスル時ハ大抵三ヶ月ヲ期シ某月日ヨリハ通用停止ノ布令ヲ出スヘシ

第十一條

一 右ノ如ク押印皆濟ノ後ハ各種ノ印章悉皆紙幣寮へ上納スヘシ

第十二條

一 交換及ヒ押印ノ事業ヲ取行フニハ多少ノ職工ヲ使役シ及ヒ幾多ノ什物ヲ費サマルヲ得

ス此等ノ經費ハ精細ノ勘定書ヲ差出スヘシ
ニ大藏省ヨリ之ヲ辨給スヘシ

第十三條

一 以上交換押印ノ事業ヲ取行フハ地方官ヘ
委任スト雖モ時宜ニヨリテハ特ニ紙幣寮
官員ヲ派出シテ其事業ヲ取行ハシムル事
モアルヘケレハ須ラク縣官其指揮ニ從ヒ
不都合ナキヤウニ補佐スヘシ

以上○同月御布告ニ曰ク戊辰發行ノ太政官
金札ハ不得止ノ場合ヨリ施行セシコトニテ

其後追々布達ノ次第モアレトモ爾來引續キ
國用多端ノ際ニ會シ即今一時正金交換ナリ
カタキニ付キ追々其手筈ニナルベケレトモ
差向己巳五月中布達ノ趣旨ニ從ヒ今般人民
ノ望ニ應シ政府ノ公債トナシ右金札并民部
省札新紙幣トモ大藏省ヘ差出シ公債ニ為シ
タキ者ヘ八年々六分ノ利子ヲ副ヘ公債證書
ヲ下付スルニヨリ來月日ヨリ望次第負數書
ヲ以テ管轄地方官ヘ申立ツヘシ
但右公債證書取扱方并利子受取方手續ハ

追テ公債證書發行條例ヲ刊行シ普ク通知
セシムヘシ

右ノ趣各地方官ニ於テ管内洩サス布達シ公
債證書所望ノ者負數申立アラハ負數書其外
トモ早々大藏省へ申立每事同省ノ指令ニ從
ヒ取扱フベシ○九月二日大藏省布達ニ曰ク
藩札引換方三河信濃越後以東ノ縣々へハ東
京大藏省紙幣寮越中飛驒美濃尾張以西ニ屬
スル縣々へハ大坂出張紙幣寮ニ於テ引換金
下付ノ旨達セシトコロ譬へハ元藩尾張ニテ

舊管轄美濃信濃聯絡ノ國々マテ藩札蔓延セ
シ分、方今管轄ニ縣ニ跨リシ如キハ都テ元藩
廳所屬ノ縣ニテ取扱出張等差支ヘナキ様申
合取計フヘク其他元藩東山道ニアリ飛地五
畿内山陽道等ニアルコトキハ元藩所屬ノ縣
ニテ引換方取扱ヒ難シ此ノ如キハ其飛地管
轄ノ縣ニテ取扱フコト、心得ヘシ仍テ引換
金聯絡ノ分ハ元藩廳附屬ノ縣飛地ノ分ハ方
今所轄ノ縣へ渡スヘキニヨリ其旨管下國々
へ兼テ布達スヘシ右ハ引換ニ限ルコトニテ

藩札高取調等ハ兼テ達セシ如ク心得ヘシ法憲

編類 ○同月三日大藏省布達ニ曰ク當八月二十

九日布達セシ官藩紙幣交換并五錢未滿小札

押印手續書ノ如ク五錢以下ノ分新貨相當價

位押印スヘキニ付テハ一種ニ付キ印章五顆

宛近々渡スヘキニヨリ府縣ニ於テ鮮明ノ朱

肉ヲ押印スヘシ法憲 ○同月同日大藏省布達

ニ曰ク舊藩々製造紙幣ノ内物産基立金へ借

リ入レ又ハ管内へ貸附ケニナリ居ル内此節

マテ取立ノ分ハ早々上納スヘシ一時取立カ

タキ分ハ價格比較表ノ新貨價ヲ以テ金高ヲ

定メ一旦上納更ニ拜借ノ上貸渡年々十一月

限リ上納ノ積取調伺出ヘキ旨當六月二十五

日達セシガ詮議ノ筋モアルニヨリ追テ達ス

ルマテ右取調方先ッ見合スヘシ尤トモ此節

マテ取立濟ノ藩札ハ勿論右へ取交納メシ正

金金札ノ分ハ精細ノ目錄ヲ添へ紙幣寮へ上

納スヘシ法憲 ○同月二十日御布告ニ曰ク先

般發行セル新紙幣ノ内五圓札百枚押印中紛

失シ探索中ニヨリ別紙明細書ノ如ク心得日

常交換ノ際各注意セシメ見當リシハ其人名
宿所等精細ニ紀明シ速ニ其筋へ届ケ出ヘシ
萬一心得ナガラ隠シ置キ、後日發露セハ嚴科
ニ處セラルヘキニヨリ各管轄内へ洩サス布
達スヘシ

紛失紙幣明細書

一五圓札記号ハ番号〇〇四〇〇一ヨリ百枚

裏面大藏卿ノ一印 朱肉

右押印アリ

表面明治通寶 朱肉

同 出納頭割印 青肉

裏面記録頭割印 綠肉

右三印押印ナシ

但本文各印トモ精良ノ肉ヲ用ヒ押印セシ
ムルニ付キ湯水ニテ洗ヒタリトモ決シテ
消滅スルコト無シ贋製ノ肉ハ湯水ニ逢ヘ
ハ必ス消滅ス可キニ付キ若シ真贋不分明
ノ札ハ前文ノ如ク試験ノ為メ湯水ヲ用ヒ
指頭ニテ磨擦スレハ必ス判然タルヘシ又
記号ハノ二字ヲ或ハハ等ニ變畫シタルモ

ノハ無論質製ト心得ヘシ素ヨリ五圓札ニ
ハ印ノ記号ナシ

以上憲法類編 ○同月二十七日大藏省布達ニ日ク

舊藩々發行通用ノ紙幣新貨價五錢未滿ノ分

新貨相當ノ價位押印通用セシメシ積リニテ

一種五顆宛渡セシ印章押印ノコトハ紙幣表

面ニ於テ文字鮮明ナル箇所ハ捺スコト、心

得ヘシ憲法類編 ○十月二十日御沙汰ニ日ク昨年

未發行ノ為換座三井組ト記載セル大藏省及

開拓使正金兌換證券ノ内五拾錢貳拾錢拾錢

ノ小券ハ追テ都合ニヨリ當春來發行ノ新紙

幣ト交換スヘキ旨當八月布告セシトコロ來

ル十一月朔日ヨリ左ニ揭示スル場所ニ於テ

交換スルニヨリ此旨各管轄内洩サス布達ス

ヘシ

東京箱崎町 開拓使貸附會所

大坂北靱町 同斷會所

函館大町壹丁目 同斷會所

以上憲法類編 ○同月同日是ノ日ヨリ新洋銀券ヲ

以テ舊洋銀券ト交換ス第二國立銀行客書 ○十一月十

十一月二十六日
改層

二日大藏省布達ニ曰ク舊藩札ノ内ニテ未發行札ノ類ハ東京大坂便利ノ方ヘ納ムヘキ旨當八月八日達シオキシガ今以テ納ムス舊縣ヨリ請取ルマ、新縣ヘ差置キシ向モアルヨシ不都合ノコトナリ右類并貸附取立揚リ札トモ右兩所ノ内紙幣寮ヘ早々上納スヘシ法憲
編類○同月十五日御布告ニ曰ク貨幣流通ノ宜ヲ得、運用交換ノ際ニ梗阻ノ弊ナカラシムルハ物産繁殖ノ根軸ニシテ富國ノ基礎ナリ從來御國內ニ於テ為替兩替等ヲ業トシ歐亞各

國ニテ通稱スルバンクノ業體ニ等キモノモアリト雖トモ其方法ノ精確ナラサルト施為ノ陋拙ナルヨリシテ充分人民ノ便益ヲ得ルニ至ラサルニヨリ今回政府ノ公債證書ヲ抵當トシテ正金引換ノ紙幣ヲ發行スル銀行創立ノ方法ヲ制定シ普ク頒布ス望ミノモノハ其力ニ應シ願出右銀行ヲ創立スヘシ尤トモ其創立ノ手續營業ノ順序等ハ國立銀行條例同成規ノ條款ニ照準シ每事確實ニ取扱フヘシ太政官
○同月奈良縣三重縣額田縣豐岡縣

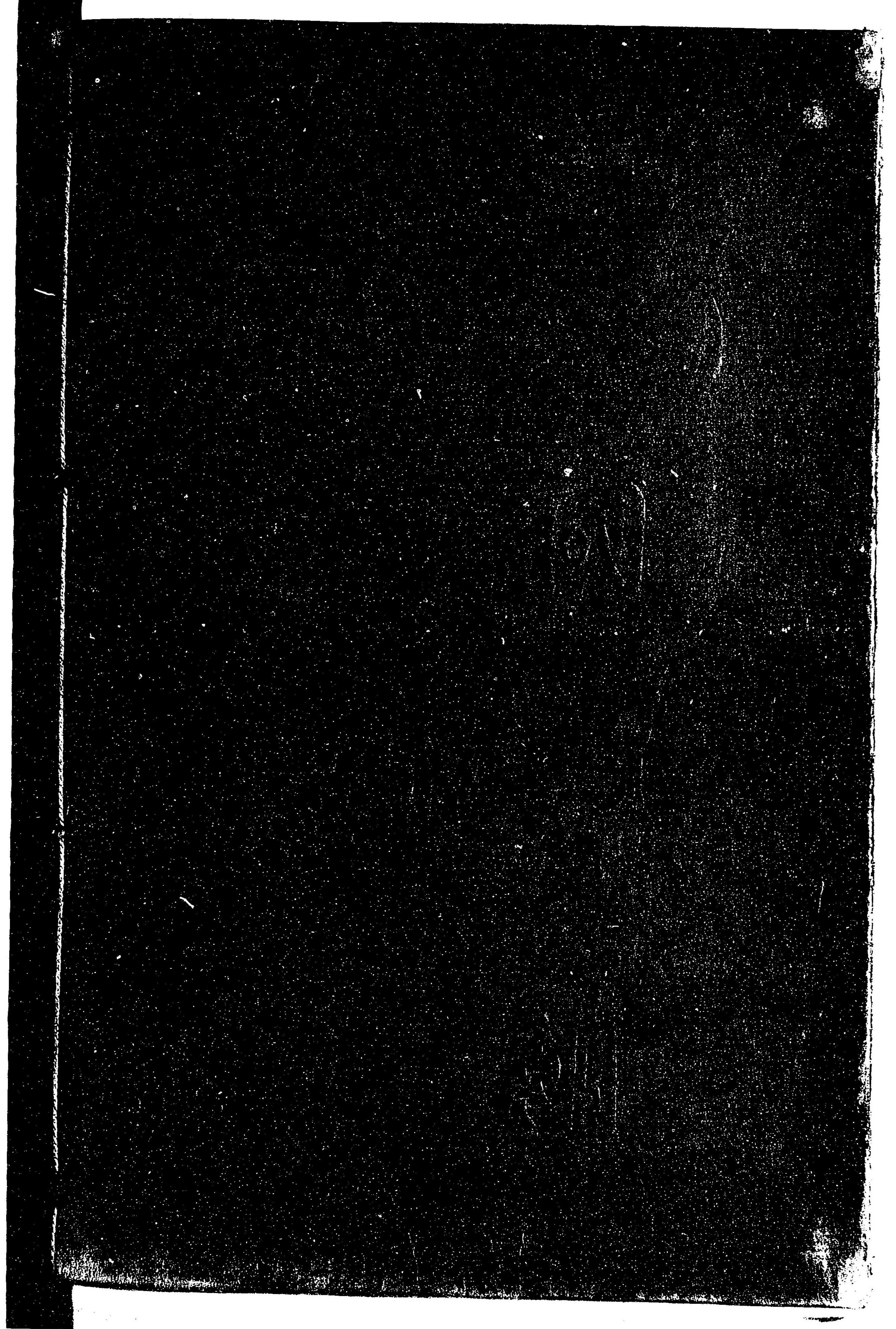
濱田縣飾磨縣小田縣和歌山縣大分縣佐賀縣
鹿兒島縣へ大藏省ヨリ布達ニ曰ク諸縣新置
ニ付キ舊藩々管轄地ノ内、兩縣ニ引分レシ向
從前其地方通用ノ舊藩札取扱ノコトハ辛未
七月十四日ノ相場ヲ以テ雙方トモ交通セシ
ム右兩縣ニ限り上納ニモ受取ル様ニスヘキ
旨同十二月十四日布告アリシニ右ハ元來其
管内限り通用ノ夕ノ發行ノ札ニテ何レモ各
種相場不同ニ付キ前同日ノ相場新貨價位未
定ノ分錯雜シテハ不都合ヲ醸スルハ必然ニ

付キ上納ノコトハ舊藩管轄地限り許可アリ
シニ追々金銀錢札ノ相場治定價格比較表ヲ
渡シ新貨トノ對價判然タリ就テハ舊藩管轄
地へ比較表行キ渡リ差支ナキ向ハ自今新置
管轄内ヲ限り從前ノ區別ニ拘ラス交互通用
上納ニ受取り苦シカラス尤トモ管轄外ハ是
マテノ如ク心得ヘシ且右札ニ關係スル事務
ハ辛未十二月御布告ノ如ク其發行ノ舊藩廳
所屬ノ新縣ニテ取扱フコト、心得ヘシ
右ノ如ク比較表行キ渡リシ縣々へ布達セシ

ニ其管内ニハ調書差出方遅延又ハ相場其外
取糺等ニテ未ダ比較表渡ラサル分モアルニ付
テハ比較表ノ渡リシ藩札ヲ未ダ渡ラサル地へ
交互通用上納受取苦シカラサレトモ比較表
渡ラサル札ヲ渡リシ地へ交互通用スヘカラ
ス追テ比較表悉皆渡ルマテ不都合ナキヤウ
管轄地へ洩サス達スヘシ

大日本貨幣史卷十六終

206
23
40



206
23
40

大日本貨幣史

一五二六